

令和4年度
事業報告

2022 年度事業報告

◎秋田しらかみ看護学院

1 事業報告

○事業および学校行事関連（主な学校行事は別紙参照）

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、各式典は、縮小（保護者 2 名・教職員）して実施した。
- ・ オープンキャンパスを 2 回実施、参加者総数 80 名（うち保護者 30 名）であった。
- ・ 文化講演会を 6 月に開催、講師に能代山本医師会会長 楊国隆 氏を招いて実施した。
- ・ 学内で「自己点検・自己評価」を行い、7 月には学校関係者評価委員会を実施した。
- ・ 校舎内の工事関連として、5 月に火災報知機の入替工事、7 月に防犯カメラの入替工事を行った。
- ・ 教育環境として、VR（ヴァーチャル・リアリティ）の講義を取り入れ看護教育の充実を図った。

○新型コロナウイルス関連

- ・ 感染対策委員との連絡を密に行い、感染者が発生した場合は速やかに対応を行った。
- ・ 8 月 23 日に学内で複数名の陽性者が出て、クラスターと認定された。
- ・ 臨地実習ができなかった場合、迅速に学内実習に切り替え円滑に実習を行った。

○新カリキュラムの実施

- ・ 令和 4 年度の 1 年生からの実施、講義時間 3,030 時間、単位数 105 単位になった。
- ・ 地域・在宅看護論実習 I と老年看護学実習 I は、「地域で生活する人を知る」ことを目的に、地域の企業や施設での臨地実習を計画していたが、令和 4 年度は学内実習となり講義形式となった。
- ・ 新しい科目として「形態機能学」を専門基礎分野に追加した。

○学生関連

- ・ 1 年生 37 名、2 年生 38 名、3 年生 43 名の計 118 名でスタートし、3 月末現在は 112 名である。
- ・ 退学者、休学者、復学者について

	1 年	2 年	3 年	合計(人)
退学者	4	2	0	6
休学者	1	0	1	2

☆ 退学・休学の理由：「進路変更」「体調不良」 ※入学直後に進路変更のため 2 名退学。

- ・ 「学生消防団」に 1 年生 25 名が新たに加わり、2 年生 27 名、3 年生 22 名と合わせ計 74 名となった。5 月 9 日に学院で 1 年生の入団式を行った。
- ・ 進路状況について、卒業生 42 名中 40 名が就職、1 名が進学した。（別紙参照）
- ・ 国家試験対策として、対策委員を中心に個別学習及び段階的教育を実施し、学習を強化した。
- ・ 2 月 12 日に実施された第 112 回看護師国家試験には 42 名が受験し 39 名が合格した。
- ・ 2 月 14 日に実施された准看護師試験には 42 名が受験し全員合格した。

○教職員関連

- ・ 専任教員 10 名（近藤美喜、中村陽子、柴田守、佐藤雅子、杉本史、田中多喜子、加藤夏生、鍋谷久美子、山平良子、神馬恵）、教務助手 1 名（宮腰美穂子）、総勢 11 名。

2 財務概況報告

- ・ 支出項目ごと精査、予算内執行に努めた。
- ・ 能代市、八峰町、三種町、藤里町から昨年引き続き運営費補助金が交付された。

2022年度 秋田しらかみ看護学院 行事实績

1. 実績

令和5年3月31日現在

月	日	行 事
4	7	入学式
	11	臨地実習開始（3年生）～10/27
	15	学院創立記念日
	28	交通安全講習会
6	17	戴帽式（24期生）
	22	文化講演会（講師：能代山本医師会会長 楊国隆）
	27	防災訓練
7	22	国家試験対策特別講義（各学年）～2/23 ※随時
	25	オープンキャンパス
8	22	地域・在宅看護論実習（1年生）～26日
9	20	前期科目修得試験～22日
10	7	学院祭 ※学生と教職員のみ
	8	オープンキャンパス
	28	老年看護学実習（1年生）～11/4
11	5	推薦入学試験
	8	成人・老年看護学実習（2年生）～12/15
	11	推薦入学試験合格発表
1	7	一般入学試験（第一次募集）
	13	一般入学試験合格発表（第一次募集）
	23	基礎看護学実習（1年生）～28日
2	4	一般入学試験（第二次募集）
	10	一般入学試験合格発表（第二次募集）
	12	第112回看護師国家試験
	14	准看護師試験
3	1	後期科目修得試験～4日
	5	卒業式
	6	一般入学試験（第三次募集）
	13	准看護師試験合格発表
	10	一般入学試験合格発表（第三次募集）
	24	第112回看護師国家試験合格発表

秋田しらかみ看護学院